

# 【飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクト】



- 事業実施年度 令和2年度
- 事業費 9,062千円
- 寄附募集額 9,000千円
- 「SDGs」関連するゴール



## ■この事業のポイント

- 飛騨市は約250種もの有用植物が自生する全国でも類を見ない薬草の宝庫です。
- 市では、この豊かな地域資源を市内外のより多くの方に享受していただけるよう、気軽に薬草に親しみ、体験できる観光・交流産業としての育成に取り組んでいます。また、薬草が持つ自然の力を普段の生活に取り入れることで、日々を楽しく健康に暮らすことができるまちを目指しています。
- 市内では薬草体験施設「ひだ森のめぐみ」でのワークショップや老舗旅館の料理長ご自慢の薬理効果にこだわった薬草料理などが楽しめます。今後は首都圏での出張イベントや商品販売にも力を入れ、飛騨市から全国に薬草の魅力を発信します。

## ■目的・概要

薬草ビレッジ構想推進プロジェクトは、飛騨市に自生する薬草を活用したまちづくりや、市民の健康づくりを目的として、官民協働で進めるプロジェクトです。令和元年度には、薬草関連商品が購入ができ、薬草を学べる体験施設「ひだ森のめぐみ」の開設や、公式Webサイトの本格運用、全国の薬草活用団体等が集まる「全国薬草シンポジウムinひだ」の開催など、薬草活用の推進を図りました。

令和2年度は、薬草を気軽に食べられる機会創出のため、市内飲食店等の薬草料理常設メニュー化へ支援するなど、市民等への薬草普及に取り組むとともに、市内外へ向けての情報発信を行い、薬草ビレッジ構想推進プロジェクトの更なる推進を図ります。

## ■事業概要

### ① 商品や飲食店等への薬草料理常設化メニューの普及啓発（250千円）

薬草商品等登録制度の創設や、試作に係る材料費を支援し、メニューの常設化への働きかけを行います。また、常設化した店舗に対し、薬草料理提供店舗とわかる表示フラッグを配布します。

### ② 薬草拠点施設「ひだ森のめぐみ」の運営（6,929千円）

薬草の展示や関連商品の販売、体験ワークショップを通じた来訪者との交流を図るとともに、薬草加工機械を導入し、手軽に薬草加工ができるサービスの提供を開始します。

### ③ 市民への薬草普及啓発（694千円）

市民が薬草に興味を持ち、より身近に薬草を生活の中に取り入れていただけるよう、薬草コンシェルジュ講座（初級編）や、薬草家庭料理教室を開催します。

### ④ 市内外の薬草活用団体との連携強化（1,189千円）

「全国薬草シンポジウムinひだ」で繋がりを構築した、全国の薬草活用団体との連携を継続し、令和2年度に熊本県で開催予定の全国薬草シンポジウムに参加するとともに、市内の薬草活用団体と協働し、市単独の薬草フェスティバルを開催します。

## ■ご寄附いただいた企業様へのご対応

○飛騨市の広報誌やホームページ、SNS等でご寄附いただいた旨、広報をいたします。

## ■お問い合わせ先

【事業内容に関すること】  
【ご寄附に関すること】

飛騨市役所 企画部 地域振興課 電話0577-62-8904  
飛騨市役所 企画部 総合政策課 電話0577-73-6558